

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国語 A II	
科目基礎情報							
科目番号		0002		科目区分	一般 / 必修		
授業形態				単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		生産デザイン工学科 (知能ロボットシステムコース)		対象学年	1		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		『現代の国語』(数研出版)、『言語文化』(数研出版) 『テーマ別 漢字 & 語彙の徹底攻略2500+』(東京法令出版)					
担当教員		新任 ,木本 拓哉					
到達目標							
1. 論理的な文章を読み、構成や展開に基づいて論旨を理解し、要約することができる。 2. 文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。 3. 古文・漢文を正しく音読し、リズムや韻などを味わうことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		論理的な文章の構成・展開を正しく理解し、要約した上で、自分の意見を表すことができる。		論理的な文章の構成・展開を正しく理解し、要約できる。		論理的な文章の構成・展開を理解、要約することができない。	
評価項目2		文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。また、代表的な文学作品の日本文学史上における位置を理解できる。		文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。		文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などの効果を説明できない。	
評価項目3		古文・漢文の表現を学び、熟語・ことわざ・慣用句などの知識を活用し、自ら創作できる。		古文・漢文の表現を学び、創作できる。		古文・漢文の表現を学び、創作することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		社会生活に必要な国語の理解能力・思考力・鑑賞力を養い、心情を豊かにして、言語活動の向上を図ることを目的とする。授業では古文、漢文を読解することで、言語文化に対する関心を深め、多角的な視点で考える力を養う。また、語句学習・漢字学習を通して基本的な知識を身につけ、表現力・文章力を磨く。					
授業の進め方・方法		次回学習する単元を予習してくる。配布するプリント類を整理すること。問いに対して簡潔明快な答えで応答すること。					
注意点		①次回学習する単元を予習してくる。②配布する参考資料や課題などを各自整理すること。③問いに対して簡潔明快に答えること。また、自分の意見を積極的に述べるよう努めること。④辞書類、国語便覧を活用し、積極的に疑問を投げかけてほしい。⑤漢字検定4～2級程度の読み書きができる語彙力を養うため、授業では語彙小テストを実施する。⑥常に「興味を持つ」「疑問を持つ」「問題意識を持つ」ことを心がけること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 古文 (1)		授業の目標と概要を理解できる。 身近な古文表現に親しみながら、古典文法・表現を理解できる。		
		2週	古文 (2) 一物語を読む①ー		物語の作者と作品の成立について理解できる。助動詞の用法を学び、現代語訳できる。		
		3週	古文 (3) 一物語を読む②ー		物語を読み、登場人物の関係を理解できる。また、登場人物の心情や人間像を捉えることができる。 意見を交換し、理解を深めることができる。		
		4週	古文 (4) 一日記・随筆を読む①ー		日記・随筆の作者と作品の成立、他の作品との関係について理解できる。		
		5週	古文 (5) 一日記・随筆を読む②ー		日記・随筆を読み、作者の心情を捉えることができる。 意見を交換し、理解を深めることができる。		
		6週	古文 (6) 一和歌を読む①ー		和歌の作者と作品の成立、時代背景について理解できる。		
		7週	古文 (7) 一和歌を読む②ー		和歌を読み、作者の心情を捉えることができる。 意見を交換し、理解を深めることができる。		
		8週	中間試験		1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を確認する。		
	4thQ	9週	試験の解説 漢文 (1) 一漢文の句法①ー		試験内容を理解し、不正解だった箇所はその理由を説明することができる。 身近な漢文表現に親しみながら、漢文訓読の基礎を理解できる。		
		10週	漢文 (2) 一漢文の句法②ー		漢文訓読の句法を理解できる。		
		11週	漢文 (3) 一故事をよむ①ー		漢詩のきまりやリズム、韻について理解できる。		
		12週	漢文 (4) 一故事を読む②ー		漢文を正しく書き下し文にできる。書き下し文をもとに現代語訳できる。		
		13週	漢文 (5) 一故事を読む③ー		内容を正しく把握し、故事の意味を考えることができる。白文に訓点を付すことができる。 故事の内容について意見を交換し、理解を深めることができる。		

		14週	漢文（６）－史話を読む①－	中国古典の文章を読み、作品の背景を踏まえて内容を理解できる。
		15週	漢文（７）－史話を読む②－	史話を読み、登場人物の心情や人間像を捉えることができる。 意見を交換し、理解を深めることができる。
		16週	定期試験	9～14週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文社会科学	国語	国語	社会生活で使われる語彙（故事成語・慣用句等を含む）を増やし、思考・表現に活用できる。	1	
				専門の分野に関する用語を論理的思考・表現に活用できる。	1	
				文学作品（小説・随筆・詩歌・古典等）を文脈に即して鑑賞し、そこに描かれたものの見方や登場人物の心情を説明できる。	1	
				言語的・文化的教養（語彙・知識等）に広く関心を持ち、そこで得られた知識や考え方を効果的な表現に活用できる。	1	
				言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深め、自己を客観的に捉えたり自分の意見を述べることができる。	1	
				常用漢字を中心に、日本語を正しく読み、表記できる。	1	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集し、それを整理、分析できる。	1	
				整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開、表現方法を工夫し、報告・論文を作成できる。	1	
				作成した報告・論文の内容及び自分の思考や考察を資料（図解・動画等）にまとめ、的確に口頭発表できる。	1	
				課題や条件に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	後3,後5,後7,後13,後15

評価割合

	試験	小テスト	演習・レポート	合計
総合評価割合	70	10	20	100
基礎的能力	50	10	20	80
専門的能力	20	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0